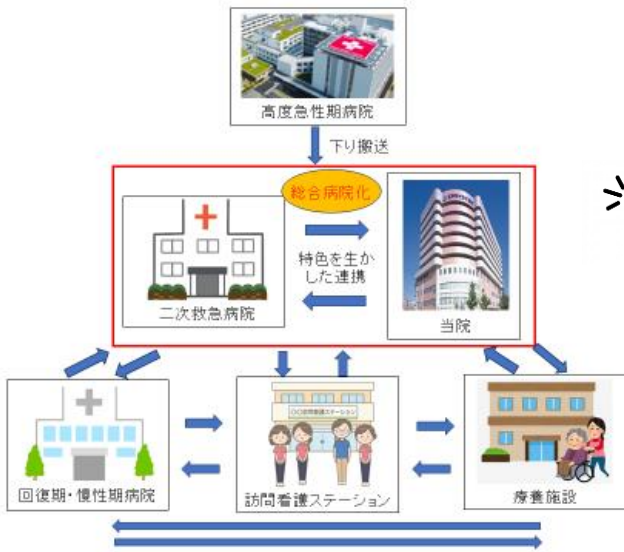


大阪西医療連携フォーラム 「第26回 病診連携会」



演題1 村橋院長

これからの掖済会病院

—新しい地域医療連携の在り方—

2次救急医療を支えている各中小病院が強みを生かした医療連携で相互補完していく事が大切と考えています。積極的に連携していきましょう。

Take Home Message

手外科領域でコンピュータ支援手術を応用しています

- 通常の手術治療には利用していませんが、骨形態が複雑な場合や稀な症例では応用しています。
- 盲目的に信じることなく、術前計画、術中とも経験ある医師が慎重に行うことが重要です。



演題2 佐々木整形外科部長

手外科におけるコンピュータ支援手術の応用

コンピュータの持つ三次元位置測定・表示能力を、手術時に支援リソースとして活用します。対象部位のCT撮影データから三次元形状を表現するファイルを作成し、手術シミュレーションを行うのです。

演題3 湯川消化器内科部長

当院における下部消化器内視鏡について

下部消化器内視鏡検査の適応

どういときに下部消化器内視鏡検査をおこなうか

- 癌を疑う
- 急性の血便や腹痛など
- 炎症性腸疾患の治療

大腸CTについて		
	CT	内視鏡
腸の中の情報	○	◎
痛み、舌痛	ない	時にある
治療	不可	可
腸以外の情報	◎	×
検査前の下剤の量	当院は大腸CTも検査できます	

ゴールドスタンダード
→内視鏡検査

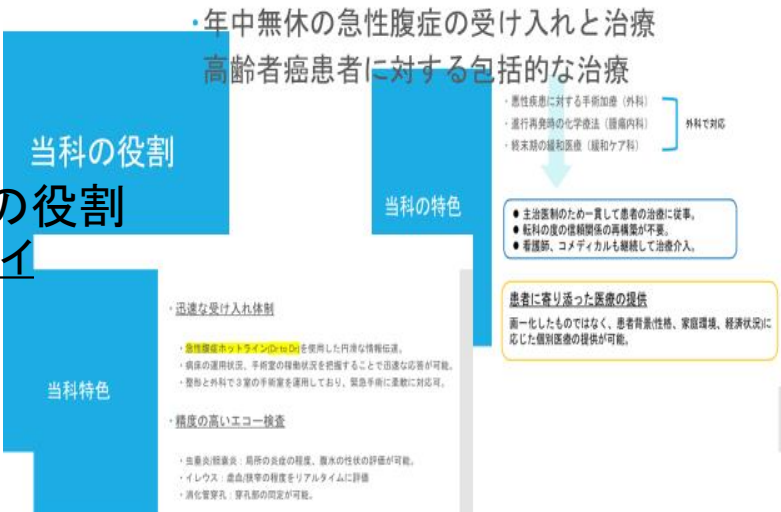
CT検査
→大腸癌が心配だが内視鏡検査を躊躇する患者さんの受け皿になれば...




癌を疑う時、急性の血便や腹痛の時、炎症性の腸疾患を疑う時にご紹介ください。夜間でも緊急内視鏡に対応可能ですし、手術適応の場合も外科との連携で即対応します。

演題4 池谷外科部長 地域医療における当院外科の役割

腹痛があれば、とにかくエキサイカイ、高齢の癌患者さんには、画一的ではなく、患者さんの背景に応じ寄り添った医療を提供いたします。



演題5 二木循環器内科部長 地域医療における当院循環器内科の役割

当院で可能な検査（循環器系）

患者様1人1人に対して至適医療を提供するために、かかりつけの先生方に定期診療をお願いし、当院では数ヶ月毎に適宜必要な精査を行い、結果をしっかりと共有させていただきます。

一般検査	非侵襲的特殊検査	侵襲的検査
採血 心電図 CT・MRI検査 エコー検査 簡易SAS検査	運動負荷心電図検査 冠動脈CT検査 PSG検査 ベースメーカーチェック	カテーテル検査 侵襲的冠動脈造影 侵襲的冠動脈内圧測定 右心カテーテル 侵襲的動脈造影検査

演題4 磯崎事務部長 これからの医療連携

当院の強みを生かす連携、検査機器の共同利用等によって入院や在宅を問わず患者様の急変に対応して行く事だと考えています。

当院のこれからの連携

- 当院の強みをいかす連携**
 - ・手外科・マイクロサージャリーセンター
 - ・消化器センター（24時間内視鏡処置・緊急手術対応）
- 検査機器の共同利用の強化**
 - ・地域の先生方へ、MRI、CT等検査機器の利用促進
- 入院・在宅問わず、患者の急変に対するフォローアップ**
 - ・熱発・吐血・下血
 - ・急性腹症等の腹部症状
 - ・大腿骨頸部骨折等の外傷

受入れ先に困ったら

掖済会

お願いします。

2024年6月22日（土）アートホテル大阪ベイタワー